

令和6年度 第5回柿崎区地域協議会 次第

日 時：令和6年9月17日（火） 午後7時

場 所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 自主的な審議

(1) 団体との懇談会の開催結果及び今後の取組について 資料 1 ～ 資料 3

(2) まちづくりフォーラムについて 資料 4

5 その他

(1) 会議の開催日程について

① 第3回柿崎区地域協議会だより編集委員会

日 時：令和6年9月17日（火） 地域協議会本会議終了後

会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305 会議室

② 第6回柿崎区地域協議会

日 時：令和6年10月15日（火） 午後6時30分

会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

6 閉 会

団体との懇談会の開催結果及び今後の取組

1 団体との懇談会の開催結果

(1) 開催日時等

団体名	日時	会場	出席者数
柿崎観光協会	9月3日(火) 18:00~19:35	柿崎区総合事務所 2階 201会議室	8人
柿崎商工会	9月5日(木) 18:30~19:45	柿崎商工会館	6人
NPO 法人 柿崎まちづくり振興会	9月11日(水) 18:00~19:40	柿崎区総合事務所 2階 201会議室	8人

(2) 自主的審議事項のテーマ（案）及び主な意見

団体名	自主的審議事項（案）
	・主な意見
柿崎観光協会	①山岳会解散後の米山登山道等の維持管理及び魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・山岳会解散後の米山登山道等の維持管理方法 ・米山の魅力発信の強化 ・イベント実施の際の人員の確保体制の整備 ・地引網漁体験の継続の危機 ・坂田池遊歩道陥没の修繕 ・城山の観光開発
柿崎商工会	①柿崎運動公園を魅力あるスポーツ集中エリアに <ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街の人の流れの減少 ・住民がイベント運営に参加できる仕組みの整備 ・山岳会の活動に代わる枠組みづくり ・柿崎運動公園を魅力あるスポーツエリアに整備 ・移住、定住の促進 ・区内4保育園、久比岐高校の跡地及び施設の活用
柿崎まちづくり振興会	①移住者、地域、地域団体の新たなネットワークの構築 ②地域の先進的な農業の取組や優良企業の情報発信 ③行政からの住民組織への活動、財政面での支援 <ul style="list-style-type: none"> ・米山のブランド化で地域経済を活性化 ・農業、企業の世界クラスの技術をPR ・移住者と住民が気軽に立ち寄れる場所づくり ・団体等の新たなネットワークの構築 ・柿崎まちづくり振興会への活動及び財政面の支援

※詳細は資料2を参照

(3) 自主的審議事項のテーマ

- ① _____
② _____

2 今後の取組

(1) 自主的審議事項の取組方法

- ・これまでは、テーマ別に委員会を立ち上げて、調査、研究、協議を行ってきた。

(2) 委員会の構成（委員名）

- ① _____

- ② _____

(3) 委員会の開催

- ・9月中に委員会を開催し、次の事項を検討、決定し、10月の地域協議会において報告する。

- ① 委員会の名称 ② 正副委員長
③ 自主的審議事項に関する通知票（資料3）の作成 ④ 審議日程

3 その他の団体との懇談会開催

(1) 町内会長連絡協議会

- ・11月開催の町内会長連絡協議会総会の席で、吉井会長が懇談会開催を依頼する。
- ・懇談会開催時期：11月～1月
- ・委員を5班（3人ずつ）に分けて、5地区で懇談会を開催する。

- | | | | |
|------------|---------|-------|-------|
| 1班：柿崎地区 | ◎山川 昌恵 | 小出 祥世 | 佐藤 達弥 |
| 2班：川西地区 | ◎石田 一久 | 小山 慶 | 坂木 朋子 |
| 3班：七ヶ地区 | ◎佐藤 まゆみ | 吉井 一寛 | 小関 信夫 |
| 4班：下黒川地区 | ◎金子 豊彦 | 吉井 一寛 | 蓑輪 和彦 |
| 5班：黒川・黒岩地区 | ◎佐藤 昌貴 | 中村 誠 | 滝澤 正芳 |

◎はリーダー

(2) 農業団体

- ・JA はまなす支店及び柿崎土地改良区は懇談会開催を了解済み。また、認定農業者協議会に2人程度、出席を依頼してはどうか。
- ・懇談会開催時期：2月

(3) 上越市漁業協同組合柿崎支所

- ・支所長は懇談会開催を了解済み。
- ・懇談会開催時期：2月

団体との懇談会結果報告書

1 班

1 団体名	柿崎観光協会
2 開催日時	9月3日(火) 午後6時~7時35分
3 会場	柿崎区総合事務所 2階 201会議室
4 出席者数	団体:8人 地域協議会:6人
5 主な意見	<p>1 山岳会の解散について 山岳会が令和8年3月に解散する。現在、上越市(柿崎区総合事務所)、山岳会、観光協会の3者で協議をしているが、良い代替案は出ていない。山岳会解散後、米山登山道の整備、トイレや避難小屋の管理方法が課題である。</p> <p>2 観光協会役員・会員の固定化、高齢化について 観光協会の役員は、在任期間が長く新しい会員も入ってこないため、固定化している。また、高齢化も進んでおり、イベントの準備、運営、後片付けや米山登山道の整備などが負担になってきている。 イベントを実施する際に、補助してもらえ人員を手配できる方法などを整備してほしい。</p> <p>3 米山の上越市内での存在について 米山が上越市にとって、あまり重要視されていないのではないかと思います。もともと山岳信仰の対象として発信力があるので、もっと情報発信する必要がある。 米山に関してのそのほかの意見 ・米山の登山者数を正確に把握する仕組みがない。 ・維持管理の経費(山頂トイレ汚泥引抜の処理費用750万円)が膨大にかかる。 ・山岳会解散後の施設の維持に危機感を抱いている。</p> <p>4 地引網漁体験の継続について 地引網漁の権利保有者がいなくなったことから、体験イベントの継続が困難である。地引網漁自体は、漁業関係者の事情であるため観光協会が関与することではないが、今後イベントができなくなることが予想される。</p>

(主な意見の続き)

5 坂田池の遊歩道修繕について

坂田池周辺をめぐる遊歩道は能登半島地震発生に伴い沈下し、遊歩道の体をなしていない。地域住民の憩いの場となっているので、修繕を望む。

6. 中央海岸の駐車場について

駐車場が無料開放されているが、料金を徴収するなどして地元に戻元できるようにした方が良いのではないかと。

海水浴客の趣向が変わり、必要なものは全てコンビニやホームセンターで用意してくるので、地元にお金が落ちない。地元商店の利用や海水浴客増を図るため、PR看板やSNSなどで発信を試みているが、なかなか成果が出ない。

7 海岸の再整備について

柿崎区でカフェを経営されている人が、ドッグランやキャンプ場等の海岸の再整備を検討していたが、施設管理者が決まらず計画が頓挫してしまつたと聞いた。柿崎区の活性化のための開発には地元の熱意が必要だと感じている。

8 城山（猿毛城址）の観光資源としての盛り上げ方について

話し合いをしているが、なかなか良いアイデアが出てこない。

来年度も地域独自の予算事業を提案し登山道の整備を行うが、山岳会解散後はできなくなる。

駐車場を整備すれば、人を呼び込むことができると考えている。

9 地域独自の予算事業の使い勝手の悪さについて

業者への全面委託ができないなど、マンパワーに限られるなかで、さまざまな工夫をしながら事業を企画しなければならない。使いやすい補助金制度にしてほしい。

自主的審議事項のテーマ（案）

①山岳会解散後の米山登山道等の維持管理及び魅力発信について

団体との懇談会結果報告書

2 班

1 団体名	柿崎商工会
2 開催日時	9月5日(木) 午後6時30分～6時45分
3 会場	柿崎商工会館
4 出席者数	団体：6人 地域協議会：5人
5 主な意見	<p>1 根本的な課題 人口減少と高齢化 → 人手不足、後継者不足</p> <p>2 具体的な問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心商店街の人の流れが少ない。 ・ 柿崎時代まつりの人出が少なくなった。 ・ イベントの運営スタッフが不足し、実働する役員の負担が大きい。 ・ 青年部員が減少し、できることも縮小している。神輿など、他地域からの助人を必要とすることもあった。 ・ 役員だけでなく、住民も行事運営に参画できる仕組みが必要ではないか。 ・ 柿崎山岳会が解散する。山岳会の活動に代わる枠組みが必要である。 <p>3 課題解決に向けての対応策、アイデア</p> <p>○柿崎のシンボル＝「米山」を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山岳会がこれまで担ってきた役割を継承する枠組みを作る。 <ul style="list-style-type: none"> * 登山道や標示の整備。山頂トイレやログハウスの修繕・管理等 ・ 米山の魅力を SNS 等で情報発信する。 ・ 米山の歴史や価値を学ぶ、高める、伝える活動を行う。 <p>○柿崎運動公園を魅力あるスポーツ集中エリアに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外施設を整備、充実し、スポーツエリアとしての魅力を高める。 <ul style="list-style-type: none"> * サッカーグラウンド、テニスコート、施設案内看板の改修・整備等 → 地元住民の運動環境を整え、健康増進の機会を増やす。 → 市内外、県内外のスポーツ団体の利用、大会の誘致が望まれる。 ・ スポーツイベントを行い、キッチンカーや露店などを呼び賑いを生む。

(主な意見の続き)

- ・改修したプールやバイオトイレを有効利用できるよう工夫する。
- ・柿崎インターチェンジからも近く利便性が良い。

○移住・定住を促進する

- ・安価な土地や古民家を提供し、若年層、子育て世帯に対する住宅購入の支援を行う。
- ・Uターン補助金や奨学金無償等の情報を周知する。
- ・子育て世帯にふるさと納税の収入を還元する。
- ・多くの人に移住・定住の情報を知らせる手立てを講じる。
*パンフレットの作成や配置
- ・より安全・安心な住環境になるよう対策する(防犯カメラ等)

○旧運転免許センター上越支所敷地にショッピングエリアを作る

- ・「道の駅」のような形にして、中越からの玄関口(インターの出入り口でもある)として、地域の情報ステーションの役割を担う。
- ・物産コーナーでは、地元産の物を販売することができる。
- ・敷地内に、地元商店の出店や商品の販売も期待できる。
- ・地域内外の集客を狙い、賑わいが期待できる。

4 その他

- ・上越地区産業廃棄物最終処分場整備に対する対応。
- ・区内4保育園、久比岐高校の跡地や施設の有効利用について
- ・将来を見据えた、より若い世代との意見交換

自主的審議事項のテーマ(案)

①柿崎運動公園を魅力あるスポーツ集中エリアに

団体との懇談会結果報告書

3 班

1 団体名	NPO 法人 柿崎まちづくり振興会
2 開催日時	9月11日(水) 午後6時～7時40分
3 会場	柿崎区総合事務所 2階 201会議室
4 出席者数	団体：8人 地域協議会：5人
5 主な意見	<ol style="list-style-type: none"> 1 米山のブランド化で地域経済を活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・米山にも米山講のようなものがあり、毎年御札を頂きにくる方もいるので、そんな側面もブランディングの一助としてはどうか。 ・また、避難小屋やトイレなど恵まれた環境があるのに、地域経済の活性化につながるような工夫がないのは残念 2 農業と企業の技術をPR <ul style="list-style-type: none"> ・柿崎の農業を撮りたいと、“ふるさと未来”に映画の撮影隊が来ていた(監督：柴田昌平氏、作品名：百姓の百の声)。スマート農業などで産業の活性化につながればとも考える。NHKなどで流れれば…。 ・また、世界クラスの技術を有する企業もあるので、工場見学などで柿崎の魅力としてPRしてはどうか。 3 保育園の統合が心配 <ul style="list-style-type: none"> ・民間移管も検討しているとあるが、保護者は心配、警戒していると思う。 ・現在の体育館の機能(町内会館や避難所として)が担保されるのかも気付きである。市民単位への情報伝達が不十分なのではないか。 4 空き家対策 <ul style="list-style-type: none"> ・何件かの移住者がいる一方で、何件かの空き家が発生している。一進一退の状況なので、さらなる活性化を望む。移住者と地域の接点となる、気軽に立ち寄れるような場所が必要だと思う。 5 柿崎まちづくり振興会への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・柿崎まちづくり振興会では、事業のブランド化と財源の確保が課題となっている。年齢の引き下げも視野に入れ、若い人材を発掘

(主な意見の続き)

していかなければならない。幅広く人材を集めて興味を持つ場所づくりや横のつながりを持って活動できればと考える。

- ・これからの高齢化社会への方向性と財政基盤の確立に憂慮している。役員はボランティアであり、収益事業も検討し受託事業も増やしていきたいと考えている。全世帯の75%の世帯から会員になっていただいているが、今後は会費も減少していくだろう。
- ・一方で、敬老会や園児バス、はまなすバスなど、住民にとってなくてはならない事業は当然行っていかなければならないが、会費を上げることは難しく、住民に負担感を押し付けたくはないとも考えている。
- ・今後、住民懇談会やアンケート調査などで方向を探りたい。地域協議会からもお力添えをいただきたい。

6 その他

- ・ドームには素晴らしいピアノがある(サイズの関係でコミプラには移動できなかったが…)。活用すべき。
- ・柿崎病院など地域医療の衰退が心配である。
- ・地域独自の予算事業は、まず条件設定がナンセンスであり地域の付託に応じた施策ではないと考える。

自主的審議事項のテーマ(案)

- ①移住者、地域、地域団体の新たなネットワークの構築について
- ②地域の先進的な農業の取組や優良企業の情報発信について
- ③行政からの住民組織への活動、財政面での支援について

地域協議会の自主的審議事項に関する通知票

提出日： 年 月 日

地域協議会名		
審議事項	件名	
	概要	
担当課 ※不明の場合は記載不要		
審議開始日		
備考		

令和 6 年度 まちづくりフォーラムについて

協議事項

- ・ 例年、地域づくりを考えるために、まちづくりフォーラムを開催し、地域協議会の活動報告、講演等を行っている。本日、今年度の開催の有無、実施方法を検討、決定する。
 - (1) 開催の有無
 - (2) 開催する場合：内容の検討や準備の進め方

1 令和 5 年度の開催状況

- (1) 目的
 - ・ 地域協議会の活動報告を行い、活気あるまちづくりのために自らできることを考える。
- (2) 日時
 - ・ 令和 6 年 2 月 25 日（日）午前 10 時～正午
- (3) 会場
 - ・ 柿崎コミュニティプラザ 4 階 ホール
- (4) 内容
 - ① 柿崎区地域協議会の活動報告
 - ② 地域協議会委員公募の概要について
 - ③ 地域独自の予算事業の概要について
 - ④ 明日へつなぐ事業検討委員会の取組について
 - ⑤ 「はまなすバス」の運行状況について
 - ⑥ 上越地区産業廃棄物最終処分場の整備について
- (5) 内容検討及び準備の方法
 - ・ 実行委員会を設置

2 これまでの開催内容

開催日時	内 容
令和 2 年度 (令和 3 年 2 月 24 日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柿崎区地域協議会の活動報告 ・ 地域活動支援事業の成果発表、次年度の募集周知
令和 3 年度 (令和 4 年 2 月 20 日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柿崎区地域協議会の活動報告 ・ 地域活動支援事業の成果発表、次年度の募集周知 ・ 講演：矢代古民家活用の会 代表 田中 功 氏 演題：地域活動と地域の未来
令和 4 年度 (令和 5 年 2 月 19 日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柿崎区地域協議会の活動報告 ・ 地域活動支援事業の成果報告 ・ 講演：NPO 法人越後妻有里山協働機構 事務局長 原 蜜 氏 演題：大地の芸術祭と FC 越後妻有